

最新技術を搭載したデジタルマンモグラフィ - 3Dマンモグラフィ（トモシンセシス） -

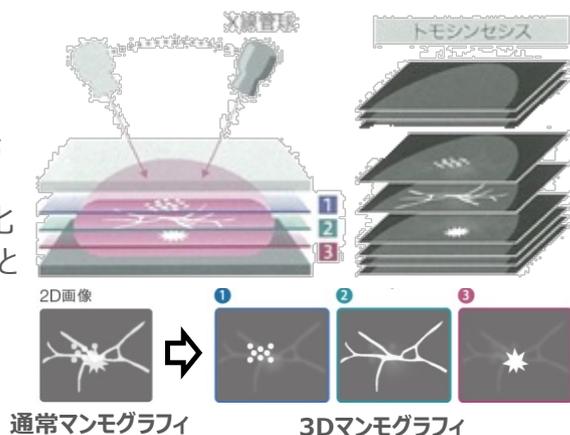
料金(税込み)
9,900円

3Dマンモグラフィ（トモシンセシス機能）とは？

通常のマンモグラフィ装置で得られる画像（2D）は厚みのある乳房の中身（乳腺、脂肪、病変など）がすべて重なり合っており、乳癌が隠れてしまう可能性があります。

3Dマンモグラフィ（トモシンセシス）は、右図のように角度を変化させて曝射しデータを収集することで、1mmごとの断面を得ることができます。

この機能によって、**今まで重なりあってわからなかったものが描出できたり、重なって病変に見えていたものが正常であるとわかる**ようになります。



3Dマンモグラフィ（トモシンセシス機能）の撮影方法

通常のマンモグラフィと同様に乳房を圧迫した状態で撮影します。

トモシンセシス機能を用いて撮影する分、撮影時間は少し長くなりますが、**1回の圧迫時間は20秒ほど**です。

最新の撮影装置を導入したことにより、通常マンモグラフィに加えて3Dマンモグラフィを撮影しても、**通常のマンモグラフィなみの被ばく線量**で撮影可能です。



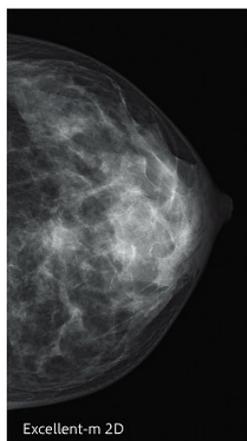
乳がんは早期発見すれば、治癒率が高いがんです

最新技術の乳癌検診で早期発見！！



当施設導入最新マンモグラフィ装置

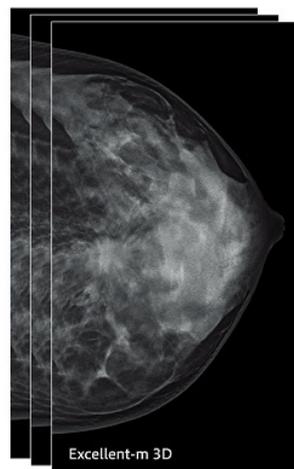
2Dマンモグラフィと3Dマンモグラフィの画像比較



2Dマンモグラフィ



1mmごとの
スライス画像で確認



3Dマンモグラフィ